

日本におけるデジタル化の状況

G5584022025 アフィカ ズハイラ ビンティ ザハリ

2025 年 7 月 7 日

1 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する調査 [1] によると、図 1 に示すように、日本における 100 人あたりのモバイルブロードバンド加入者数は 190.5 で、第 1 位になっている、2 位はエストニアで、3 位米国と続く。

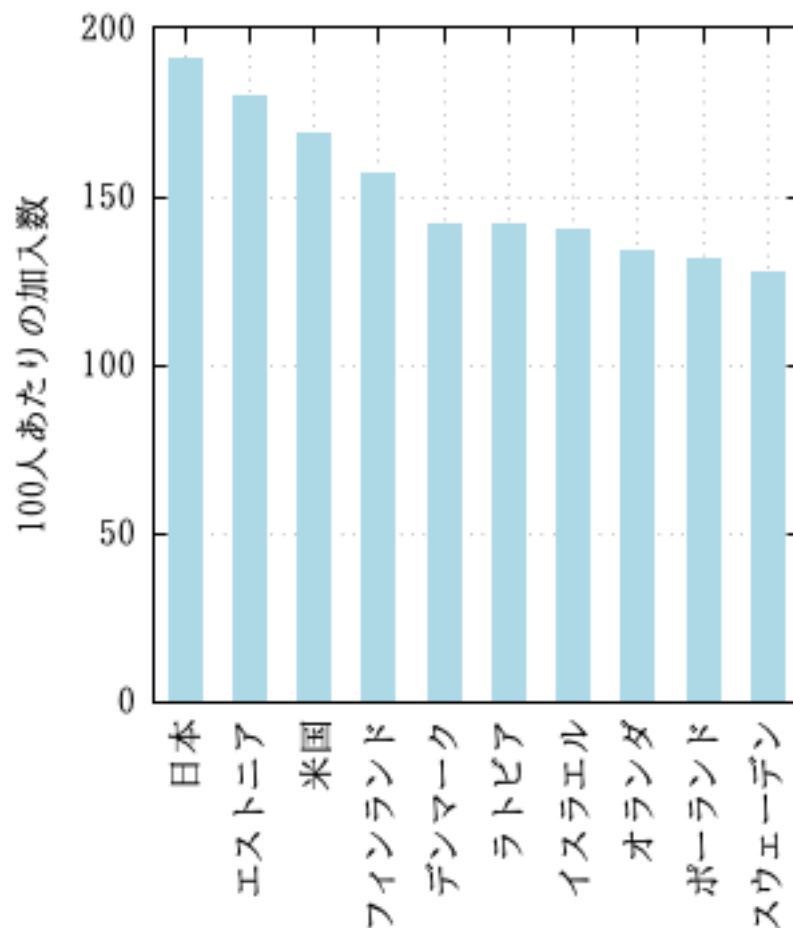


図 1: 光ファイバー回線の加入者数（100 人あたり）

2 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所（IMD）の調査 [2] によると、日本のデジタル競争力のランキングは表 1 に示すように、調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、準備分野で 30 位となっている。

表 1: デジタル競争力ランキング（64 カ国中）

国	総合	準備
米国	1 位	4 位
香港	2 位	10 位
スウェーデン	3 位	8 位
デンマーク	4 位	2 位
シンガポール	5 位	3 位
韓国	12 位	13 位
中国	15 位	20 位
日本	28 位	30 位

3 考察

- 日本のブロードバンド整備
 - － 日本のブロードバンド普及率は世界トップレベルとなっている。
- 日本のデジタル競争力
 - － 日本のデジタル競争力ランキングは低い位置となっている。

上記の要因として、インターネットの普及は急速に進んだ一方で、日本政府のデジタル推進の遅れが出ているためと考えられる。

参考文献

- [1] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.
- [2] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.